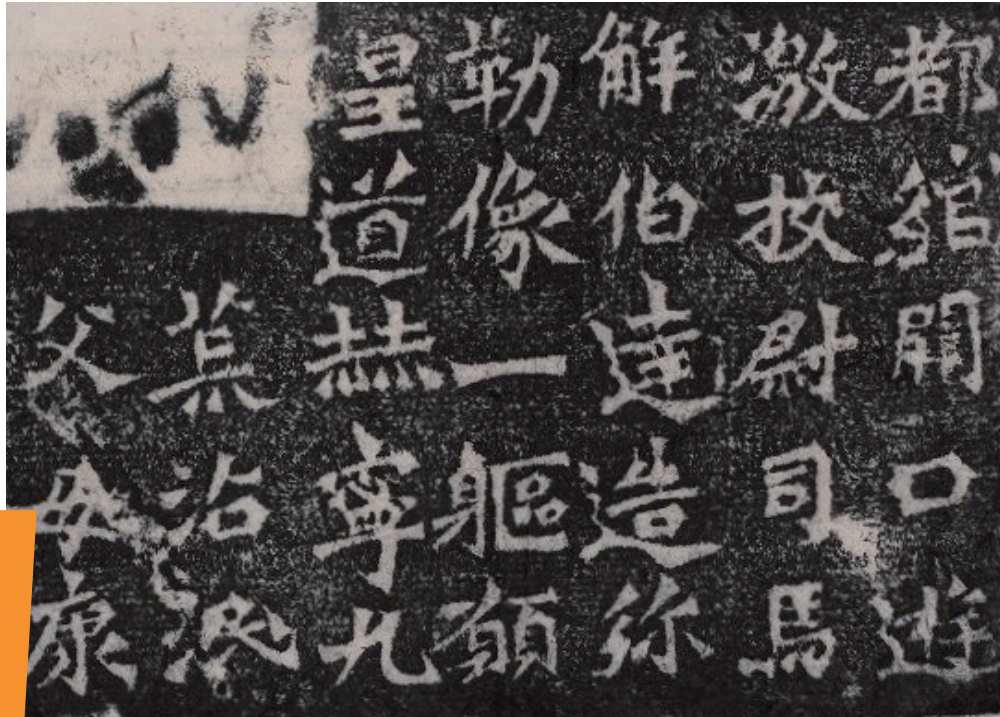


昨年、人文研で「龍門二十品」と呼ばれる古い拓本が発見され、話題になりました。中国・龍門石窟で5～6世紀に刻まれた文字の、破損前の状況を伝える貴重な品です。人文研の収蔵資料の意義や、80年以上に及ぶ石窟研究の歴史と現状を紹介します。



# Lecture series

- 研究の最先端 -

no.150



さまざまな分野の研究をリードする京大の研究者たち。研究のおもしろさや可能性を館長が聞き出します。ご一緒に、研究の世界へ。中高生も大歓迎です。

## 人文研の拓本資料と 中国石窟寺院研究

2018.10.13 sat.

10:30 ~ 12:00

稲本 泰生

人文科学研究所 教授



中国の碑刻は歴史資料として、また書の世界として、高い価値を備えています。人文研ではウェブサイトでも拓本文字データベースを公開し、収蔵資料の整理研究の成果を発信しています。ぜひとも、漢字の美しさを味わっていただきたいです。

場 所：ミュージアム・ラボ（博物館1階 自然史展示室内）  
 申し込み：不要です。直接博物館へお越しください。  
 参加費：無料です。ただし、博物館への入館料は必要です。  
 一般 400円 / 高校生・大学生 300円 / 小学生・中学生 200円  
 ※20名以上の場合は団体観覧料を適用  
 ※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1人、70歳以上の方は無料（要証明）  
 問い合わせ：〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
 TEL (075)753-3272 FAX (075)753-3277  
 E-mail : info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp  
 URL : http://www.museum.kyoto-u.ac.jp

後 援：京都府教育委員会、京都市教育委員会

※開催時間が今年は昨年と違って  
午前10時30分開始ですのでご注意ください。

